



## 2024年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（非連結）

2024年1月11日

上場会社名 バリオセキュア株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4494 URL <https://www.variosecure.net/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶浦 靖史  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 磯江 英子 TEL 03 (5577) 3284  
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の業績 (2023年3月1日~2023年11月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	1,974	△0.5	436	△22.7	427	△19.0	288	△22.1	288	△22.1
2023年2月期第3四半期	1,984	3.2	564	1.7	528	2.2	370	3.6	370	3.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	63.90	63.09
2023年2月期第3四半期	93.38	90.99

#### (2) 財政状態

	資産合計	資本合計	資本合計比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	7,661	5,488	71.6
2023年2月期	7,826	5,378	68.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	40.50	40.50
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,685	1.9	456	△21.4	444	△18.0	308	△19.5	68.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	4,520,053株	2023年2月期	4,515,613株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	1,519株	2023年2月期	470株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	4,515,712株	2023年2月期3Q	3,969,162株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) キャッシュ・フローの分析 .....	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 要約四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 要約四半期財政状態計算書 .....	3
(2) 要約四半期損益計算書及び要約四半期包括利益計算書 .....	5
(3) 要約四半期持分変動計算書 .....	7
(4) 要約四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 要約四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、所得、雇用環境が改善される中、緩やかな回復が続くことが期待されているものの、物価の上昇や金融資本市場の変動等の影響が懸念されております。更に海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

当社を取り巻くセキュリティサービス市場の環境としては、サプライチェーンを狙ったサイバー攻撃や一般企業・病院等を狙うランサムウェア被害(身代金要求型ウイルス)が増加しております。また、企業によるクラウドサービスの利用やDX化の推進等により、セキュリティ対策は必然となっております。

そのような環境下、エンドポイントセキュリティ対策としてサイバー攻撃の兆候を検知するVarioマネージドEDRサービスの監視やインシデント調査などの運用面における手厚いサポートが評価され、売上収益が大幅に伸長しました。また、昨今の医療機関等を標的としたサイバー攻撃や医療情報システムのクラウド利用の増加などを背景に、2023年5月31日に厚生労働省より、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第6.0版」が発表され、当社のデータバックアップ(VDaP)が医療機関から注目を集め、売上収益が堅調に拡大しました。

当社は、今期から2026年2月期にかけて、中期経営方針のもと「マネージドサービスの対応領域拡大・競争力強化」「成長セキュリティ市場への参入」「既存販売網と異なる新規営業体制の強化」を掲げ、人材の獲得、サービス企画・事業開発の強化、ソフトウェア開発等の事業投資を行う計画を公表し、実現に向けての取り組みを行っております。人材基盤を強化することで、新規販路の開拓とサービス開発を推進しています。

このような状況のもと、売上収益は、マネージドセキュリティサービスではストック型の収益と、その低解約率(0.67%) (注)及びVarioマネージドEDRのライセンス数増加により前年同期比では増収となりました。インテグレーションサービスでは統合セキュリティ機器(UTM)の販売低迷により、前年同期比を下回りました。また、中期経営方針に基づく事業投資により、新規採用コスト、広告宣伝費等を計上したことにより、各種段階利益では、前年同期比で減益となりました。

以上の結果、IFRSに準拠した当第3四半期累計期間の業績は、売上収益1,974,518千円(前年同期比0.5%減)、営業利益436,473千円(同22.7%減)、税引前四半期利益427,605千円(同19.0%減)、四半期利益288,571千円(同22.1%減)となりました。

なお、当社は、インターネットセキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

(注)解約率(金額ベース) = 当第3四半期累計期間解約金額 ÷ (各年度の期初ベース月次売上収益 × 9)

### (2) 財政状態に関する説明

IFRSに準拠した当第3四半期会計期間末における財政状態の状況は以下のとおりであります。

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、7,661,110千円となり、前事業年度末に比べ165,080千円減少しました。これは主に、有形固定資産が77,437千円、無形資産が46,220千円及びその他の非流動資産が43,158千円増加し、現金及び現金同等物が305,022千円減少したことによりです。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、2,172,186千円となり、前事業年度末に比べ275,031千円減少しました。これは主に、非流動負債のリース負債が47,345千円増加し、未払法人所得税等が81,605千円、非流動負債の借入金150,000千円及びその他の非流動負債が88,780千円減少したことによりです。

#### (資本)

当第3四半期会計期間末における資本合計は、5,488,924千円となり、前事業年度末に比べ109,951千円増加しました。これは主に、四半期利益の計上により利益剰余金が288,571千円増加し、配当金182,863千円により利益剰余金が減少したことによりです。

（3）キャッシュ・フローの分析

IFRSに準拠した当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第3四半期累計期間における資金は、前事業年度末に比べ305,022千円減少し、当第3四半期会計期間末には734,938千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、226,942千円（前年同期は258,767千円の収入）となりました。主な増加は、税引前四半期利益427,605千円、減価償却費及び償却費138,118千円、主な減少は、営業債権及びその他の債権の増加額31,047千円、その他の非流動資産の増加額43,158千円、その他の非流動負債の減少額88,780千円、法人所得税の支払額181,763千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、132,960千円（前年同期は103,600千円の使用）となりました。主な減少は、無形資産の取得による支出91,315千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、399,004千円（前年同期は358,615千円の収入）となりました。主な減少は、長期借入金の返済による支出150,000千円、配当金の支払額182,701千円によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症による当社の業績への影響は軽微であります。従いまして、2024年2月期の業績予想については2023年4月12日に公表した業績予想を据え置き、今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期財政状態計算書

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,039,961	734,938
営業債権及びその他の債権	443,904	474,952
棚卸資産	260,283	253,998
その他の流動資産	181,143	156,747
流動資産合計	1,925,292	1,620,636
非流動資産		
有形固定資産	158,905	236,343
のれん	5,054,613	5,054,613
無形資産	296,075	342,295
その他の金融資産	63,384	63,384
繰延税金資産	166,352	139,111
その他の非流動資産	161,566	204,724
非流動資産合計	5,900,898	6,040,473
資産合計	7,826,190	7,661,110

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	200,000	200,000
営業債務及びその他の債務	81,751	94,042
未払法人所得税等	105,254	23,649
引当金	94,858	91,235
その他の流動負債	350,810	340,114
流動負債合計	832,674	749,042
非流動負債		
借入金	1,300,000	1,150,000
リース負債	-	47,345
引当金	18,432	18,469
その他の非流動負債	296,110	207,329
非流動負債合計	1,614,542	1,423,143
負債合計	2,447,217	2,172,186
資本		
資本金	749,758	750,868
資本剰余金	2,048,261	2,051,393
利益剰余金	2,581,039	2,686,748
自己株式	△85	△85
資本合計	5,378,973	5,488,924
負債及び資本合計	7,826,190	7,661,110

(2) 要約四半期損益計算書及び要約四半期包括利益計算書

要約四半期損益計算書

第3四半期累計期間

	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
	千円	千円
売上収益	1,984,805	1,974,518
売上原価	803,607	832,089
売上総利益	1,181,198	1,142,428
販売費及び一般管理費	617,883	706,073
その他の収益	1,503	119
その他の費用	0	1
営業利益	564,818	436,473
金融収益	1	4
金融費用	36,639	8,872
税引前四半期利益	528,180	427,605
法人所得税費用	157,547	139,033
四半期利益	370,632	288,571
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	93.38	63.90
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	90.99	63.09



要約四半期包括利益計算書  
第3四半期累計期間

	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
	千円	千円
四半期利益	370,632	288,571
その他の包括利益	-	-
四半期包括利益	370,632	288,571

(3) 要約四半期持分変動計算書

前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円
2022年3月1日時点の残高	330,018	1,641,719	2,351,369	△49	4,323,058
四半期利益	-	-	370,632	-	370,632
四半期包括利益合計	-	-	370,632	-	370,632
新株の発行	418,190	403,610	-	-	821,800
自己株式の取得	-	-	-	△36	△36
配当金	-	-	△153,647	-	△153,647
新株予約権の行使	1,350	1,350	-	-	2,700
株式に基づく報酬取引	-	1,042	-	-	1,042
所有者との取引額合計	419,540	406,003	△153,647	△36	671,859
2022年11月30日時点の残高	749,558	2,047,722	2,568,355	△85	5,365,550

当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円
2023年3月1日時点の残高	749,758	2,048,261	2,581,039	△85	5,378,973
四半期利益	-	-	288,571	-	288,571
四半期包括利益合計	-	-	288,571	-	288,571
配当金	-	-	△182,863	-	△182,863
新株予約権の行使	1,110	1,110	-	-	2,220
株式に基づく報酬取引	-	2,022	-	-	2,022
所有者との取引額合計	1,110	3,132	△182,863	-	△178,620
2023年11月30日時点の残高	750,868	2,051,393	2,686,748	△85	5,488,924

(4) 要約四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	528,180	427,605
減価償却費及び償却費	114,819	138,118
引当金の増減額 (△は減少)	-	△3,622
金融収益	△1	△4
金融費用	36,639	8,872
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△128,005	6,284
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	14,835	△31,047
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△8,372	24,360
その他の非流動資産の増減額 (△は増加)	△3,568	△43,158
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△55,791	11,245
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△16,122	△22,736
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	△20,042	△88,780
その他	△7,304	△10,014
小計	455,266	417,122
利息の受取額	1	4
利息の支払額	△11,698	△8,421
法人所得税の支払額	△184,801	△181,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,767	226,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,223	△41,645
無形資産の取得による支出	△84,376	△91,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,600	△132,960
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	815,366	-
新株予約権の行使による収入	2,700	2,220
長期借入れによる収入	1,600,000	-
長期借入金の返済による支出	△1,850,000	△150,000
リース負債の返済による支出	△55,362	△68,522
自己株式の取得による支出	△36	-
配当金の支払額	△153,302	△182,701
その他	△749	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	358,615	△399,004
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	513,781	△305,022
現金及び現金同等物の期首残高	389,846	1,039,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	903,622	734,938

（5）要約四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社はインターネットセキュリティサービス事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。